



日高 SSH news

【 第 3 号 】

<http://www.hidaka-h.wakayama-c.ed.jp/hidaka-ssh/>

日高SSHニュースは本校SSHホームページに掲載しております

6月2日(木)・8日(水) 高校 総合科学科1年生 チュラルサイエンスⅠ(生物) 特別講義「京都大学瀬戸臨海実験所研修」について報告

高校総合科学科1年生を対象に、チュラルサイエンスⅠ特別講義を京都大学フィールド科学センター瀬戸臨海実験所(白浜町)において実施しました。

この研修は、生物多様性と生物分類、環境保全運動について実習を通して学び、今後の学習につなげることを目的として毎年行っているもので、今年は5組が6月2日(木)、6組が6月8日(水)と2日間にわたって実施されました。

両日とも天候に恵まれ、充実した研修となりました。生徒からは「もう少し野外実習の時間がほしかった」との声もありましたが、全員積極的な姿勢で取り組めたのではないのでしょうか。研修内容を今後の学習に活かしてくれることを期待します。



磯での観察のようす



磯で採集した生物の分類

◆ 研修内容と、お世話になった講師の先生 ◆

研修① 野外実習(磯観察と採集)
講師：大和茂之氏(京都大学瀬戸臨海実験所 助教)

研修② 講義および分類実習
講義：「生物分類の基礎と海洋生物の多様性」
実習：「田辺湾の生物多様性とその分類」
講師：大和茂之氏(京都大学瀬戸臨海実験所 助教)

研修③ 附属水族館実習

6月9日(木)・10日(金) 高校 普通科1年生 生物基礎 特別講義「名田海岸・日高川河口干潟研修」について報告



日高川河口の干潟での実習

高校普通科1年生を対象とした生物基礎の特別講義を御坊市内の名田海岸および日高川河口干潟にて、6月9日(木)は1組・2組、10日(金)は3組・4組と2日間にわたって実施しました。

まず、前半は日高川河口に広がる干潟にて実習を行いました。近年、干潟は全国的に減少しているようですが、ここには様々な生き物が生息しており、食物連鎖にともなう特有の生態系を形成しています。また、優れた浄化作用によって河口の水質悪化を防いでいます。生徒たちはこうした干潟の生態系についての説明を受け、干潟保全の大切さについて学習しました。また、この地域は御坊市の花木に指定されている「ハマボウ」の群生地でもあり、その生態についても学習しました。

後半の名田海岸では、クラスごとに4人1班の10班に分かれ、採集道具を持って磯場の潮だまり等に生息するギンボやハゼなどの小型魚、ケブカガニやスジエビといった甲殻類、その他にもニセクロナマコ、ムラサキウニ、マダコなど、潮だまり特有の生き物をたくさん採集することができました。生徒たちは海水に足を浸けながら真剣に採集を行っていました。約1時間の採集の後、各班が採集した生き物を持ち寄り、バットに入れて種類分けを行い、それぞれの形態的・生態的特長について説明を受けました。



名田海岸での磯の観察



磯で採集した生物の分類

☆☆ SSH関係 今後のおもな予定 ☆☆

7月10日(日) 缶サット甲子園2016 和歌山地方大会 [会場：和歌山市内(コスモパーク加太等)] … 科学部

7月10日(日) 物理チャレンジ [会場：日高高校]

7月13日(水) 第1回SSH運営指導委員会 [会場：日高高校会議室]

7月17日(日) 生物オリンピック [会場：日高高校]

8月10日(水)・11日(木) SSH生徒研究発表会 [会場：神戸国際展示場]

8月31日(水) 東京学芸大学による特別講義 … 中3「実験科学Ⅲ」、高2総合科学科「ナチュラルサイエンスⅢ」